



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月27日

上場会社名 兼松サステック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7961 URL <https://www.ksustech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小泉 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 相葉 雅士 TEL 03-6631-6600
 四半期報告書提出予定日 2022年10月28日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,113	13.2	358	△9.1	404	△9.4	258	△15.7
2022年3月期第2四半期	6,282	9.0	394	8.0	446	13.1	306	22.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 258百万円 (△15.7%) 2022年3月期第2四半期 306百万円 (24.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	62.39	—
2022年3月期第2四半期	74.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,703	8,955	70.5
2022年3月期	12,286	8,800	71.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 8,955百万円 2022年3月期 8,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	6.5	1,080	9.0	1,140	2.1	770	0.4	185.79

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,149,200株	2022年3月期	4,149,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,700株	2022年3月期	4,650株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,144,508株	2022年3月期2Q	4,144,610株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進む中で、各種政策の効果もあって景気の持ち直しの動きがみられました。一方で、世界的な金融引締めが進む中で金融資本市場の変動による急激な円安のほか、ウクライナ情勢の長期化等によるエネルギー・原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業分野である住宅関連業界におきましては、昨年来の世界的なウッドショックの影響による木材市場価格の高騰は落ち着きが見られるものの、北米住宅市場の落ち込みや国内における住宅ローン金利の上昇、新設住宅着工戸数の減少による市場環境悪化に加え、為替相場の急激な円安による資材価格の高騰等、厳しい事業環境が続いており、引き続き注視が必要な状況となっております。

このような環境のもとで当社グループは、お客様のニーズに応えるべく事業の組織力ならびに営業力を高め、高付加価値製品、高品質の技術およびサービスの提供を強化してまいりました。その結果、売上高は71億1千3百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は3億5千8百万円（前年同期比9.1%減）、経常利益は4億4千万円（前年同期比9.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5千8百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

ジオテック（地盤改良）事業

一般の地盤調査や地盤改良工事の販売、当社独自の高耐久性を有した木製パイルを施工材料とする「環境パイル工法」の販売および自社開発の地盤改良関連技術や関連する部材等の販売は前年同期比で増加いたしました。また、販売強化をしている非住宅分野におきましても、堅調に推移いたしました。加えて、新地盤トータルサポートシステム等のIT投資による生産性向上も寄与し、売上高は31億9千3百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は2億3千4百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

木材加工事業

昨年来の世界的なウッドショックの影響による木材市場価格の高騰は落ち着きが見られるものの、期間を通じて世界的なサプライチェーンの混乱等から原材料の調達価格は高い水準で推移いたしました。北米住宅市場の落ち込みや国内新設住宅着工戸数の減少による市場環境悪化に加え、急激な円安の影響による原材料価格の上昇も重なりました。これに伴い、売上高は前年同期比で増加したものの、想定以上に利益が圧迫されることとなりました。

また、当第2四半期を見込んでいた木材保存処理装置の販売が、機械部品の調達遅延により翌四半期以降にずれ込んだことも影響し、売上高は22億5千3百万円（前年同期比37.0%増）、営業利益は7千7百万円（前年同期比58.2%減）となりました。

セキュリティ機器事業

高付加価値商品の拡販活動および新規顧客の開拓に注力しつつ、差別化となる新たな商品やサービスへの取組みを進めております。しかしながら、急激な円安の影響による輸入仕入価格の上昇や、機器販売における価格競争の激化により利益が大きく圧迫されている状況が続いており、売上高は14億3千6百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は1千5百万円（前年同期は1千1百万円の営業損失）となりました。

石油製品事業

国内外の経済活動が徐々に回復し物流状況も改善傾向にある中、燃料油の配達業務およびガソリンスタンド店頭でのフルサービスによる顧客満足の上昇に注力いたしました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等による原油価格の高騰の影響から、消費需要が減少し、燃料油の販売数量は前年同期比減少いたしました。売上高は2億2千9百万円（前年同期比10.5%減）となり、営業利益は2千8百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は127億3百万円であり、前連結会計年度末と比較して4億1千7百万円増加いたしました。

流動資産は、商品及び製品、原材料の増加等により5億1千8百万円増加いたしました。固定資産は、機械装置及び運搬具、繰延税金資産の減少等により1億円減少いたしました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加等により2億1千2百万円増加いたしました。固定負債はリース債務、退職給付に係る負債の増加等により5千万円増加いたしました。

純資産は、四半期純利益2億5千8百万円の計上等により前連結会計年度末から1億5千4百万円増加し、89億5千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年4月27日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,795	3,933
受取手形及び売掛金	2,369	2,338
商品及び製品	1,147	1,279
原材料	539	811
その他	145	152
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,996	8,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	673	657
機械装置及び運搬具(純額)	423	385
土地	999	999
リース資産(純額)	13	21
その他(純額)	49	46
有形固定資産合計	2,159	2,111
無形固定資産		
ソフトウェア	228	205
その他	14	14
無形固定資産合計	243	219
投資その他の資産		
投資有価証券	95	91
繰延税金資産	221	197
投資不動産	1,435	1,435
その他	138	137
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	1,886	1,857
固定資産合計	4,289	4,188
資産合計	12,286	12,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,062	2,572
リース債務	5	9
未払法人税等	253	140
契約負債	302	290
賞与引当金	243	209
役員賞与引当金	19	—
その他	325	203
流動負債合計	3,213	3,426
固定負債		
リース債務	10	26
退職給付に係る負債	156	189
資産除去債務	20	20
その他	84	85
固定負債合計	272	322
負債合計	3,485	3,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,325	3,325
資本剰余金	1,146	1,146
利益剰余金	4,333	4,488
自己株式	△7	△7
株主資本合計	8,797	8,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
繰延ヘッジ損益	0	0
その他の包括利益累計額合計	2	2
純資産合計	8,800	8,955
負債純資産合計	12,286	12,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	6,282	7,113
売上原価	4,453	5,327
売上総利益	1,828	1,785
販売費及び一般管理費	1,434	1,427
営業利益	394	358
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	1	—
受取賃貸料	43	42
受取保険金	18	16
その他	4	14
営業外収益合計	68	75
営業外費用		
持分法による投資損失	—	3
為替差損	3	12
賃貸費用	12	12
その他	0	0
営業外費用合計	17	29
経常利益	446	404
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	447	404
法人税、住民税及び事業税	125	121
法人税等調整額	15	24
法人税等合計	140	145
四半期純利益	306	258
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	306	258

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	306	258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	306	258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306	258
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	447	404
減価償却費	100	92
固定資産売却益	△0	△0
固定資産除却損	0	0
賃貸費用	12	12
受取賃貸料	△43	△42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	△34
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	△19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	32
受取利息及び受取配当金	△1	△2
持分法による投資損益 (△は益)	△1	3
受取保険金	△18	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	△188	30
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△254	△403
仕入債務の増減額 (△は減少)	190	509
契約負債の増減額 (△は減少)	△27	△12
その他	54	△111
小計	233	443
利息及び配当金の受取額	1	2
法人税等の支払額	△74	△223
法人税等の還付額	0	—
保険金の受取額	18	16
補助金の受取額	—	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	180	245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△52	△10
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△0	△0
無形固定資産の取得による支出	△41	△19
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資不動産の賃貸に係る支出	△8	△13
投資不動産の賃貸による収入	36	36
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△0
敷金及び保証金の回収による収入	11	1
預り保証金の受入による収入	6	1
その他	6	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3	△3
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△103	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106	△107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28	138
現金及び現金同等物の期首残高	3,195	3,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,223	3,933

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,068	1,645	1,312	256	6,282	—	6,282
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	498	—	20	518	△518	—
計	3,068	2,143	1,312	276	6,801	△518	6,282
セグメント利益 又は損失(△)	172	184	△11	42	387	7	394

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去7百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,193	2,253	1,436	229	7,113	—	7,113
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	586	—	23	610	△610	—
計	3,193	2,840	1,436	252	7,723	△610	7,113
セグメント利益	234	77	15	28	356	2	358

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去2百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。